

Nature,History,Culture



自然を愛で

歴史を学び

文化を楽しむ

左京はあとふるプラン

左京区基本計画 第2期

2011 ▶ 2020

ごあいさつ



京都市長

門川 大作

な、そしてそれぞれ世界に誇る、優れた特性があります。

今、人口減少・少子高齢化、進む地球温暖化など、私たちは様々な困難な課題に直面しています。しかし、京都ならではの都市特性を最大限に発揮し、ピンチをチャンスに知恵と力を結集すれば、必ず困難を乗り越えて未来を切り拓ける。私はそう確信しています。

この度、左京区の皆様の英知を結集し、左京区の個性を最大限に生かした魅力ある地域づくりを進めるための指針となる「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画(第2期))を策定しました。この「左京はあ

とふるプラン」は、今後10年間の京都の未来像と主要政策を明示した「はばたけ未来へ! 京プラン」(京都市基本計画(第2期))とともに、市民の皆様と夢と希望、危機感と責任を共有して描いた「未来の京都」を実現するためのシナリオとなるものです。

策定に当たりましては、市政協力委員連絡協議会会長及び自治連合会会長等で構成する「左京区住民円卓会議」と学識者や地域で活動されている方等で構成する「次代の左京まちづくり会議」からなる「左京区の未来をつくる区民会議」において深い議論を重ねるなど、区民ぐるみで取り組んでいただきました。皆様に深く感謝申し上げます。

策定に当たりましては、市政協力委員連絡協議会会長及び自治連合会会長等で構成する「左京区住民円卓会議」と学識者や地域で活動されている方等で構成する「次代の左京まちづくり会議」からなる「左京区の未来をつくる区民会議」において深い議論を重ねるなど、区民ぐるみで取り組んでいただきました。皆様に深く感謝申し上げます。

左京区の皆様の熱い思い、夢、希望がぎゅっと詰まったこのシナリオを手には、私は、皆様と共に汗する「共汗」と、徹底した市民目線による政策の「融合」を基本に、「地域主権時代のモデル」となる未来の京都のまちづくりを全力で進めて参ります。そして、50年後、100年後も「日本に京都があつてよかった」、「京都に住んでよかった」と実感していただける魅力あふれる京都を築いていく決意です。

さあ、皆様! 希望に満ちた未来へと、左京区が、そして京都が、更に高く、強く、美しくはばたくよう共に力を合わせて参りましょう。



左京区長

山内 清

左京区役所では、平成23年度から10年間の新たなまちづくりの指針となる「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画(第2期))を策定しました。

この計画は、平成13年に策定した左京区基本計画(第1期)を引き継ぎ、新しい左京区のまちづくりの基本指針となるものであり、平成20年

度から策定に向けて取り組んで参りました。

平成20年度は、市政協力委員連絡協議会会長及び自治連合会会長等から成る「左京区住民円卓会議」を開催し、各地域の視点から意見交換を行っていただくとともに、区民の皆様へのアンケートを実施し、計画素案作成前の段階から幅広く御意見、御提案をいただきました。平成21年度からは、学識経験者や地域で活動されている方等で構成する「次代の左京まちづくり会議」を設置し、円卓会議と合わせて「左京区の未来をつくる区民会議」として、熱心な議論を重ねてい

ただきました。平成22年度には、計画素案に対する意見募集、計画案に対する意見募集、基本計画を考えるシンポジウムの開催を通じて、様々な立場の皆様方から幅広い御意見をいただいて参りました。

このように、多くの区民の皆様が左京区についての熱い思いを盛り込んで策定した「左京はあとふるプラン」は、「自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ「豊かなところ」を大切に伝えます」をキャッチフレーズに、左京区に暮らす区民の皆様が互いに交流を深めながら、左京区の魅力である豊かな自然や歴史、多彩な文化を未来に受け継いでいくことを目標としています。また、区民の皆様一人ひとりができることや、区民の皆様と行政・事業者・大学等が協働で実施する取組等を盛り込んだ共汗型の計画となっています。

この魅力ある左京区を更に素晴らしい魅力あふれる左京区にするため、区民の皆様と力を合わせ、職員一丸となって取り組んで参りますので、引き続き、御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げます。

「左京はあとふるプラン」の策定に当たり、多くの区民の皆様方から御支援、御協力をいただきましたことに心から感謝申し上げます。

も く じ

はじめに 2

- 🌸 左京区基本計画（第1期）の取組状況
- 🌸 計画の位置付け
- 🌸 計画の特徴

左京区の概況 4

- 1 左京区の誕生
- 2 地勢・自然環境
- 3 歴史・文化
- 4 人口の推移

計画の目指すところ 8

計画の概要 10

まちづくりの目標と取組 12

目標その1 ~美しい自然のまちづくり~ 12

- 自然環境
- まちの美化
- 歩きやすいまち
- 自然と調和した都市基盤整備
- 防災・消防

目標その2 ~歴史・文化・学問のまちづくり~ 22

- 歴史資源・文化財
- 伝統行事
- 観光
- 文化・芸術
- 大学のまち

目標その3 ~ひとにやさしいぬくもりのまちづくり~ 32

- 子ども
- 高齢者
- 障害のあるひと
- 市民参加・生活安全
- 交流・共生

地域別の目標 42

計画策定の経過 44

- 1 左京区の未来をつくる区民会議「左京区住民円卓会議」
- 2 左京区の未来をつくる区民会議「次代の左京まちづくり会議」
- 3 左京区基本計画（第2期）策定に向けた意見募集等

計画の推進に向けて 45

- 1 区民と行政・事業者・大学等との協働による取組
- 2 左京区運営方針による取組の推進
- 3 計画の進ちょく状況の管理

左京区が初めての区基本計画として平成13（2001）年1月に策定した左京区基本計画（第1期）が平成22（2010）年に終了するため、この度、平成23（2011）年度から平成32（2020）年度までの10年間の左京区のまちづくりの指針となる「左京はあとふるプラン」（左京区基本計画（第2期））を策定しました。

策定に当たっては、左京区基本計画（第1期）の取組状況と、この間の時代の変化により生じた新たな課題等も踏まえ、計画素案を作成するとともに、区民の皆様へのアンケート、計画素案に対する意見募集、更には計画案に対する意見募集やシンポジウムなどを通じて区民の皆様の意見を反映した計画として策定しました。



左京区基本計画(第1期)の取組状況 平成13～22年(2001～2010年)

左京区基本計画（第1期）では、「歴史・文化・学問のまち左京区～緑あふれるやま・さと・まちに広がる出会い！～」をまちづくりの目標に掲げ、平成13（2001）年～平成22（2010）年の10年間に14施策、76事業を推進してきました。

歴史

- 伝統行事を収録した観光振興用DVDの作成
- 伝統行事の保存会等のネットワークづくり
- 「知られざる歴史的文化的遺産の再発掘とまちづくり資源としての整備」をテーマにしたシンポジウムや講演会の開催
- 散策マップや歳時記マップの作成



文化

- 煎茶会、いけ花教室、文化フェスティバル、作品展を開催
- 区民による身近な文化の更なる創造



学問

- 大学と地域の相互交流促進事業による、大学と地域の協働による魅力あるまちづくり
- 大学等の研究者による区民講座を開催



緑あふれるやま・さと・まち 区民が出会い、ふれあう場

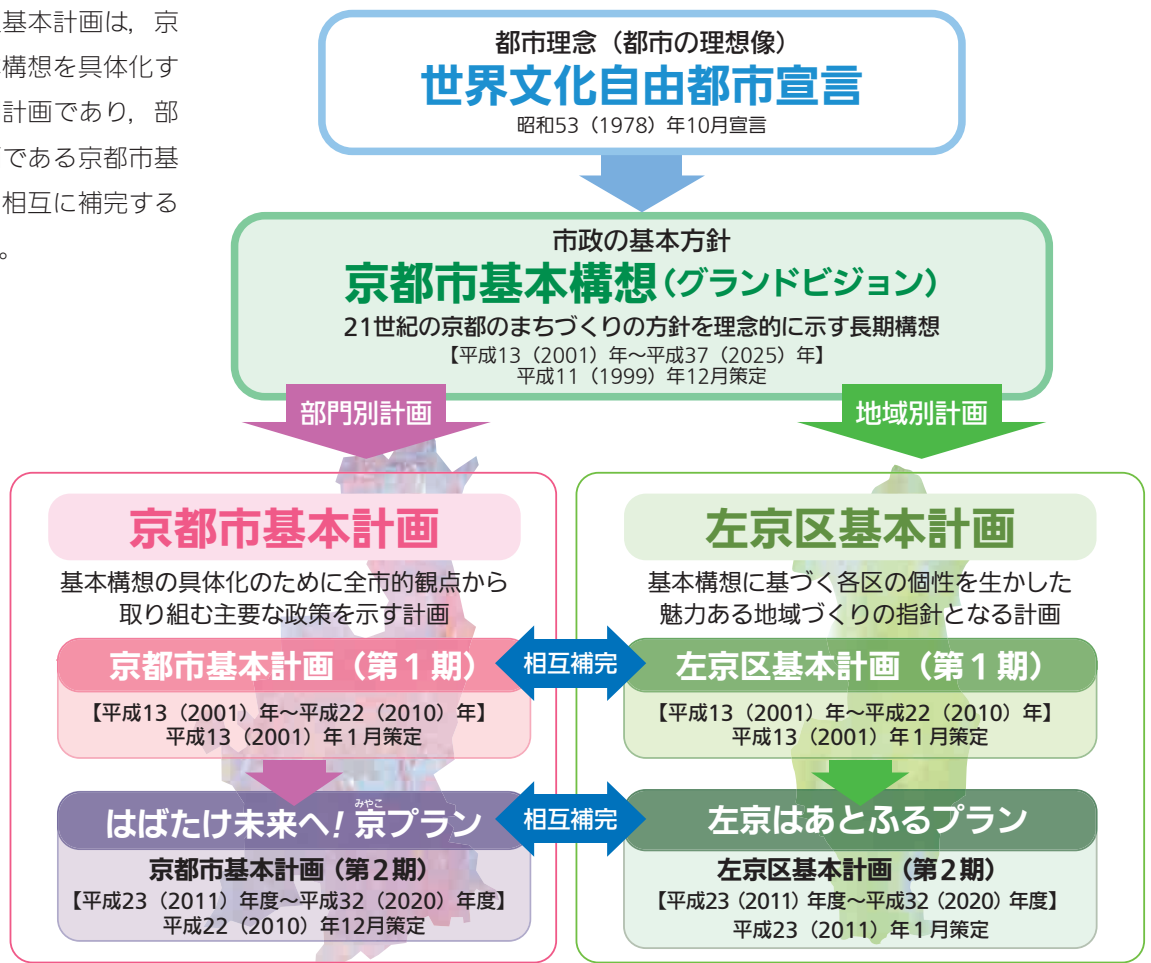
- 左京区民ふれあいまつりをはじめとする区民ふれあい事業
- 人権啓発事業
- 心ときめき芸術祭の実施
- 誰もが互いの人権を尊重するまちづくり
- 新左京区総合庁舎の整備



このような取組状況については、平成14（2002）年3月に設置した「左京区まちづくり推進会議」で進ちょく状況を点検し、平成20（2008）年5月に左京区基本計画取組状況報告書により総括しました。掲げたすべての事業を着手できた一方で、北部地域では過疎化が進み、農林業従事者の減少が続くなど、自然環境の保全や活用を中心に課題が残されています。

計画の位置付け

左京区基本計画は、京都市基本構想を具体化する地域別計画であり、部門別計画である京都市基本計画と相互に補完するものです。



計画の特徴

左京区では、**計画素案の作成前の段階から、各地域からの代表等で構成する「左京区住民円卓会議」を開催**し、左京区の特性やまちづくりの取組などについて、それぞれの思いを発表しながら活発な意見交換を行ってきました。また、素案作成に向けたアンケートも実施し、多くの区民の皆様から、左京区に関する様々なご感想やご意見をいただきました。

これらの取組を踏まえ、これまでの計画のように、市や区が実施する事業だけを取り上げるのではなく、**区民の皆様一人ひとりが実行することや、区民の皆様と行政・事業者・大学等が協働で実施する取組を盛り込んだ共汗型計画**としています。また、左京区についての**区民の皆様の思いや未来像を盛り込み、区民の皆様と共有することができる身近な計画**となること



左京区住民円卓会議

を目指しました。

さらに、少子高齢化が進行し、かつてのような高度成長が望めない社会経済状況を踏まえ、キャッチフレーズとも言える「目指すところ」は、**自然や「こころ」の豊かさの大切さに主眼を置いた「自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ「豊かなこころ」を大切に伝えま**す」としました。



1 左京区の誕生

左京区は、昭和4（1929）年に上京区から分
区して誕生しました。その後、昭和6（1931）
年に愛宕郡修学院村、松ヶ崎村を、昭和24（1949）
年に愛宕郡岩倉村、八瀬村、大原村、静市野村、

鞍馬村、花脊村、久多村を、さらに、昭和32（1957）
年に北桑田郡京北町広河原地区を編入し、現在に
至っています。

2 地勢・自然環境

左京区は、京都市の東北部に位置し、北は京都
市の最北端で、南丹市や高島市に続き、東は大津
市に、西は北区、上京区、中京区及び右京区に、
そして南は東山区と山科区に接し、区域の面積は、
大阪市より広く、246.88km²に及びます。また、
区域は、大阪湾に注ぐ高野川・鴨川水系、桂川水
系、琵琶湖に流れる安曇川水系の3つの水系の流
域に大きく分かれ、地理的な特色からは、市街地
を中心とする南部、市街地と自然が共存する中部、
純農村的な北部の3つに大別できます。

京都府下で最も高い皆子山（972m）、第2位

の峰床山（970m）を区域に含むなど、面積の約
8割を山林が占め、峰床山の東には関西では珍し
い高層湿原である八丁平があります。こうした山
林は、京都や大阪の水源の役割を担い、多種多様
な動植物のかけがえのないすみかとなっています。
また、中南部地域にも糺の森、吉田山などの豊か
な自然が残されています。北部地域には、山村都
市交流の森、野外活動施設花背山の家、百井青少
年村などの施設があり、豊かな自然環境を生かし
ながら交流を進める拠点となっています。

3 歴史・文化

左京区北白川では平成3（1991）年に縄文時
代早期の竪穴住居跡が府内で初めて発見されると
ともに、平成22（2010）年に京都市動物園内
で行われた法勝寺（平安時代後期に白河天皇が造営）
の発掘調査では、高さ約80mの巨大な八角九重
塔の跡が見つかりました。また、室町時代後期、
慈照寺（銀閣寺）を中心に花開いた東山文化から、
いけ花や茶道などの文化が生まれたと言われてい
ます。このように、左京区は豊かな歴史と多彩な
文化を有する区です。

また、区内には、世界遺産に登録されている賀
茂御祖神社（下鴨神社）と慈照寺（銀閣寺）をは
じめとして、南禅寺、平安神宮、鞍馬寺、三学院
など著名な社寺が点在し、国宝や重要文化財が多
く残っています。伝統行事では、国の重要無形民
俗文化財である久多花笠踊をはじめ、市の無形民
俗文化財に登録されている大文字・妙法の送り火、
花脊・広河原・久多宮の町の松上げ、八瀬赦免地踊
り、鞍馬の火祭などが各地域で継承されています。

さらに、京都市の区の中で最も大学が多く、京
都大学、京都工芸繊維大学、京都精華大学、京都
造形芸術大学、京都ノートルダム女子大学、京都
府立大学の6つの大学（大学院のみの大学を除く）
があります。岡崎公園周辺には、京都市動物園、
京都市美術館、京都會館、京都市勤業館（みやこ
めッセ）、琵琶湖疏水記念館、京都府立図書館、
京都国立近代美術館などの文化施設が集積してい
ます。地下鉄北山駅周辺には、京都府立植物園、
京都コンサートホール、京都府立総合資料館など
があります。

大学の集まるまちとして留学生も多く、数多く
の外国人観光客も訪れます。宝が池の国立京都国
際会館では、地球温暖化防止京都会議（COP3）
をはじめ、数多くの国際会議が開催されてきたほ
か、国際交流の拠点となっている京都市国際交流
会館には、年間約25万人の来館者があるなど、
左京区は国際色豊かな区でもあります。





国の重要無形民俗文化財

久多花笠踊

京都市登録無形民俗文化財等

- ①一乗寺鉄扇
- ②一乗寺八大神社の剣鉾
- ③市原ハモ八踊・鉄扇
- ④石座例大祭（石座火祭）
- ⑤大原上野町おこない・お弓
- ⑥大原八朔踊
- ⑦上高野念仏供養踊
- ⑧北白川高盛御供
- ⑨木野愛宕神社の烏帽子着
- ⑩久多宮の町松上げ
- ⑪久多山の神・お弓
- ⑫鞍馬の火祭
- ⑬鞍馬山竹伐り会式
- ⑭木瓜大明神の剣鉾
- ⑮時代祭風俗行列
- ⑯修学院題目踊・紅葉音頭
- ⑰大文字送り火
- ⑱鉄仙流白川踊
- ⑲花脊松上げ
- ⑳広原松上げ
- ㉑広原ヤッサ踊・ヤッサコサイ
- ㉒松ヶ崎題目踊・さし踊
- ㉓松ヶ崎妙法送り火
- ㉔八瀬赦免地踊り

北山地域

- ・京都府立植物園
- ・京都コンサートホール
- ・京都府立総合資料館 など

岡崎地域

- ・京都市動物園
- ・京都市美術館
- ・京都会館
- ・京都市勧業館（みやこめっせ）
- ・琵琶湖疎水記念館
- ・京都府立図書館
- ・京都国立近代美術館
- ・京都市国際交流会館 など

4

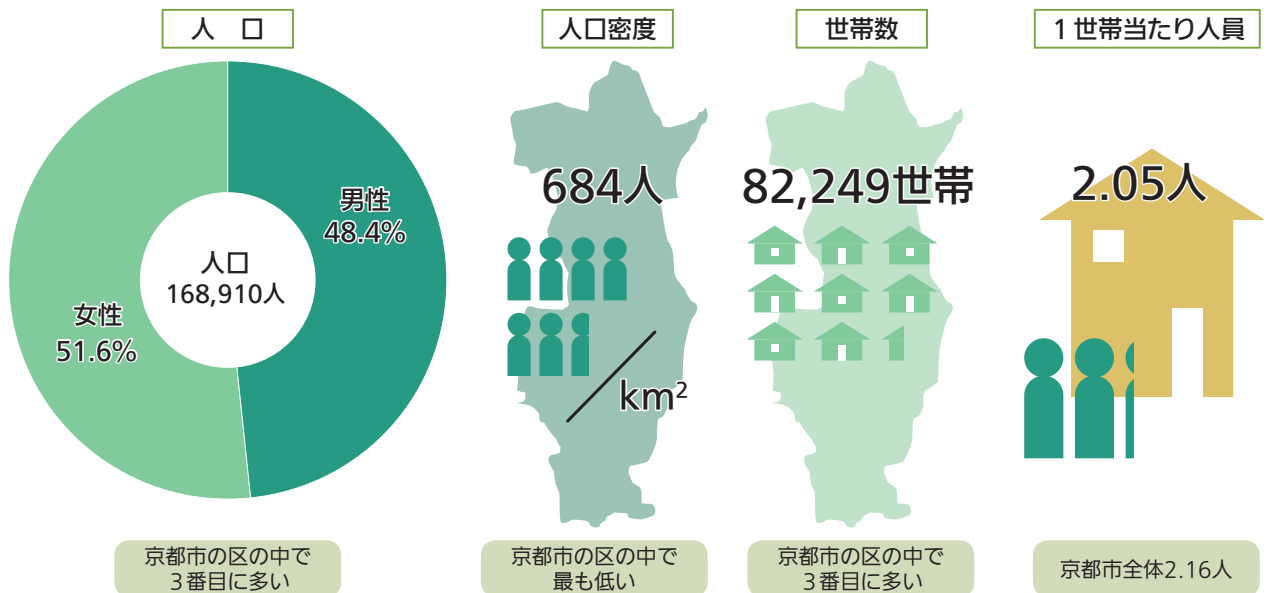
人口の推移

左京区には、平成22（2010）年10月1日現在で、82,249世帯、168,910人が暮らしており、これは京都市の中で3番目に多い人口です。一方、1世帯当たりの人員は、1人暮らしの大学生の割合が高いこともあり、京都市全体より少ない2.05人です。

また、左京区の人口は減少傾向にあり、平成22（2010）年の人口は、昭和50（1975）年の89.2%になっています。今後も、人口は減少するものとみられ、平成22（2010）年から25年後の平成47（2035）年には、約2万人、1割程度減少するものとみられています。その一方で、65歳以上の人の割合である高齢化率は年々高くなり、平成17（2005）年の20.9%から、30年後には30%近くになるものとみられています。

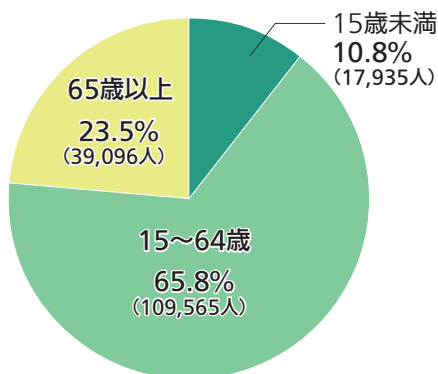
人口と世帯数

（平成22年10月1日現在の国勢調査市速報値。ただし、男女の割合は平成22年9月1日現在の推計）



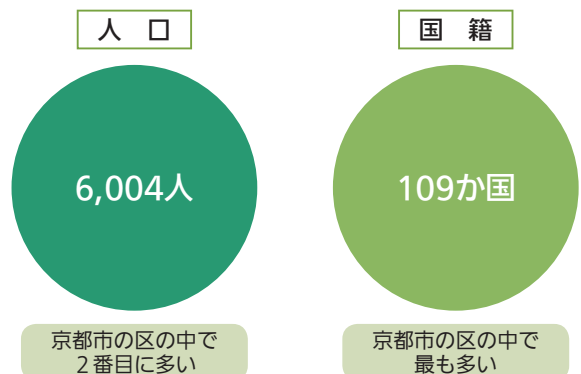
年齢3区分別人口

（平成21年10月1日現在の推計人口）



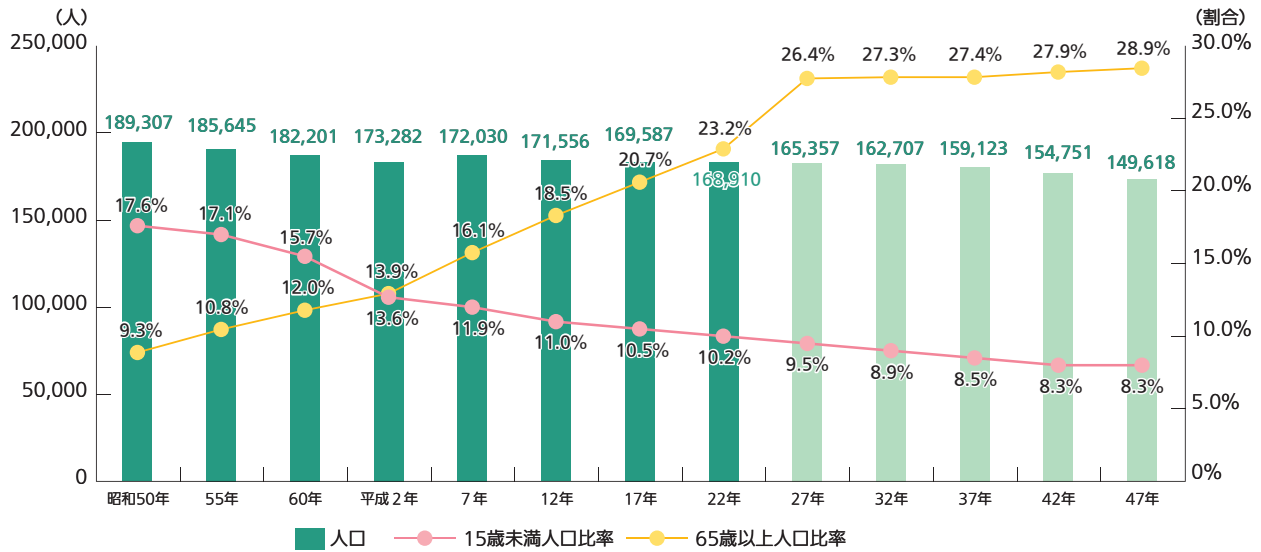
外国籍市民

（平成22年12月31日現在の登録）



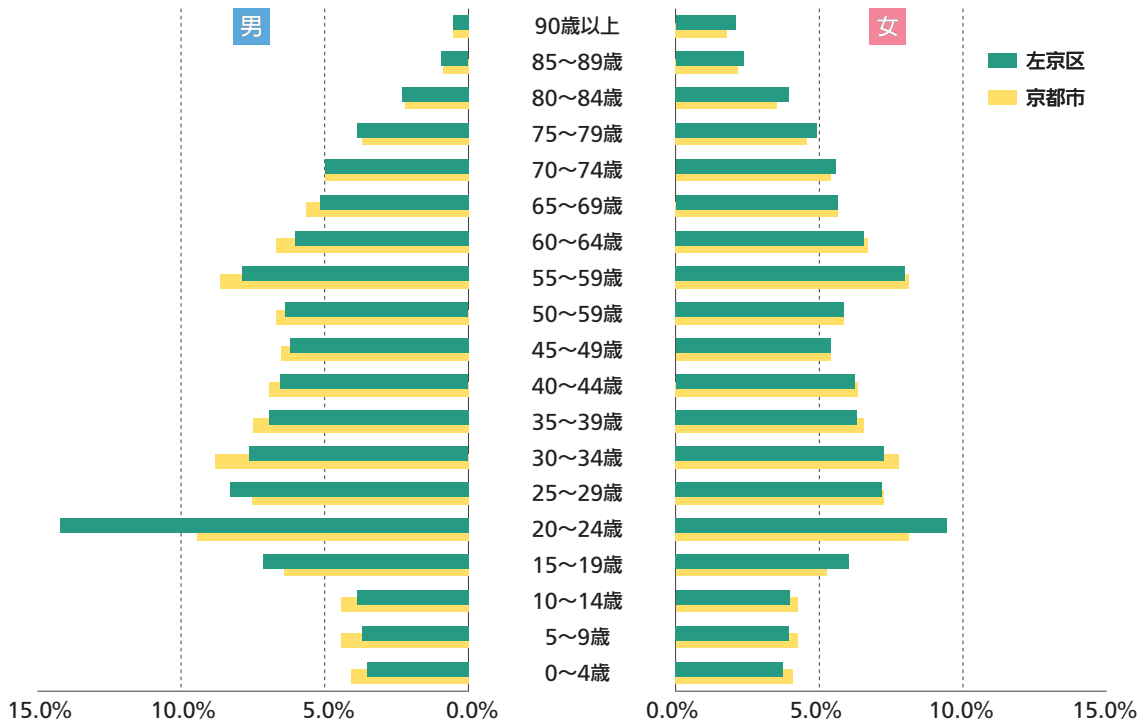
左京区の人口及び将来推計

(国勢調査及び市独自推計。ただし、平成22年人口は市速報値)



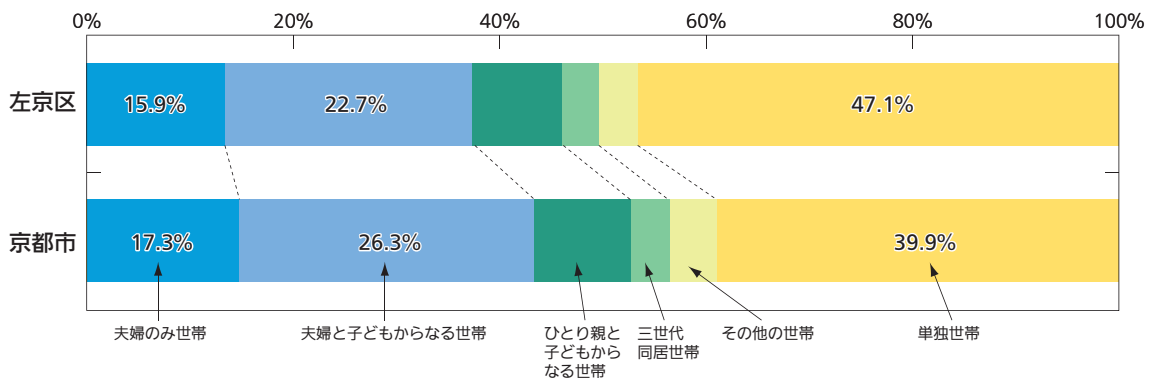
年齢階層別人口

(平成17年国勢調査)



左京区の世帯型別世帯割合

(平成17年国勢調査)



自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ

「豊かなところ」を大切に伝えます

左京区の山々やまちには、四季を彩り、いのちの潤いをもたらす美しく豊かな自然が息づいています。

広大な区域のほとんどは森林に抱かれ、特に山間部である北部地域には、深い森林や澄み切った水源が残されており、その草木や水の流れの中に多くの鳥、魚、虫などの生き物の息づかいが聞こえてきます。また、市街地を擁する中南部地域には、比叡山や大文字山など東山の峰々が連なるとともに、宝が池公園や糺の森などの緑が広がり、

大小の川の流れがまちとまちを結んでいます。

この左京区の大きな魅力である美しく豊かな自然を、左京区に暮らしてきた多くの人々は、日々の生活に取り入れ、祭りや営みなどに生かしてきました。それが、左京区の歴史となり、伝統ある文化・産業となって脈々と受け継がれてきました。また、自然との調和を図る暮らしのあり方は、美しい景観をもたらし、環境に配慮した暮らしの知恵を生み出しました。その美しい

左京区を訪ねて、国内外から多くの観光客が訪れます。

このみずみずしい木々の緑と清らかな水の流れに代表される美しい自然、そして豊かな自然に培われた悠久の歴史、自然とともに守り育まれてきた貴重な文化を次の世代に引き継ぐことが、私たち左京区にかかわるすべての者の重要な使命です。

左京区に暮らしてきた人々は、これまでから、自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ豊かなところを大切に

してきました。

「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画(第2期))では、まず、自然、歴史や文化とともに生きる「豊かなところ」を次世代に伝えていきたいと考えています。計画のメッセージをもとに、左京区に住む多くの人々が互いに交流を図り、左京区に集まる大学の知恵と力を借りながら、自然、歴史・文化を魅力そのままに未来へ継承することができるとまちづくりを進めます。

3つの目標, 15の分野に 45の取組, 行政が協働や単独で取り組む71の具体例を掲げています。

※「区民一人ひとりができること」には、事業者や大学等それぞれがすることも含まれます。

自然を愛で、歴史を学び、文化を楽しむ

「豊かなこころ」を大切に伝えます

3つの目標

目標1 美しい自然のまちづくり

左京区は豊かな自然に恵まれたまちです。この緑あふれる美しい自然を守り育てるとともに、自然と調和するまちづくりを進めます。

10年後のすがた 自然を愛で、地球環境に配慮したエコライフを実践する左京

自然環境

「自然を愛でるこころ」を大切にしましょう。

まちの美化

美しいまちを目指しましょう。

歩きやすいまち

自転車等のマナーの向上に努めましょう。

自然と調和した都市基盤整備

自然資源を暮らしの中で使いましょう。

防災・消防

自然災害等に対する防災意識を高めましょう。

区民一人ひとりができること※

区民と行政・事業者・大学等が協働すること

行政（区役所・市役所）がすること

山を育てて、自然の資源を生かしましょう。

地域での一斉清掃などの取組を行いましょう。

誰もが歩きやすい道を確保しましょう。

まちの緑や景観を守りましょう。

長期的な視点で防災に取り組ましましょう。

自然を生かした区内の交流を進めます。

ごみの減量や環境保全に関する啓発を強化します。

歩きやすいまちづくりを進めます。

自然に配慮した都市基盤整備を進めます。

災害に強いまちづくりを進めます。

行政が協働や単独で取り組む23の具体例
P.13
P.15
P.17
P.19
P.21

目標2 歴史・文化・学問のまちづくり

左京区は豊かな歴史と多彩な文化が息づくとともに、多くの大学が集まる学問のまちです。この魅力を更に高めるまちづくりを進めます。

10年後のすがた 歴史や文化を気軽に学び、楽しみ、多彩な交流を育む左京

歴史資源・文化財

左京区の歴史や文化を学びましょう。

伝統行事

伝統行事を守り伝えましょう。

観光

観光客に左京区の文化を伝えましょう。

文化・芸術

文化・芸術を楽しみましょう。

大学のまち

地域と大学との交流を図りましょう。

歴史や文化を学ぶ仕組みをつくりましょう。

小学校等との連携により、伝統行事を継承しましょう。

自然を生かした観光の仕組みづくりを進めましょう。

自然を文化・芸術に生かしましょう。

大学の発想を生かしたまちづくりを進めましょう。

文化財の保全・活用を進めます。

伝統行事に関する情報交換を支援します。

地域の魅力を生かした観光を支援します。

文化・芸術を身近に感じられる機会を提供します。

大学が連携できる仕組みづくりを進めます。

行政が協働や単独で取り組む19の具体例
P.23
P.25
P.27
P.29
P.31

目標3 ひとにやさしいぬくもりのまちづくり

左京区で暮らすひと、学ぶひと、働くひと、そして左京区を訪れるすべてのひとにやさしいぬくもりが伝わるまちづくりを進めます。

10年後のすがた すべてのひとが互いを認め合い、支え合う温かいこころを持つ左京

子ども

子どもを地域全体で見守り、育てましょう。

高齢者

みんなが安心して暮らせるよう、高齢者を支え合ひましょう。

障害のあるひと

地域で福祉に取り組む意識を受け継ぎましょう。

市民参加・生活安全

地域活動へ参加を呼びかけましょう。

交流・共生

互いを認め合い、交流を深めましょう。

子どもの安心・安全を確保しましょう。

地域で顔の見える関係づくりを進めましょう。

地域ですこやかに暮らせるよう交流しましょう。

地域の団体との連携により、地域活動の輪を広げましょう。

自由に交流できる平和なまちづくりを進めましょう。

出産・育児や子どもの学びを支援します。

高齢者が地域で活動できるよう支援します。

地域のネットワークづくりを推進します。

地域活動に関する情報を発信します。

地域間の交流と情報の共有を支援します。

行政が協働や単独で取り組む29の具体例
P.33
P.35
P.37
P.39
P.41

目標その1

美しい 自然の まちづくり

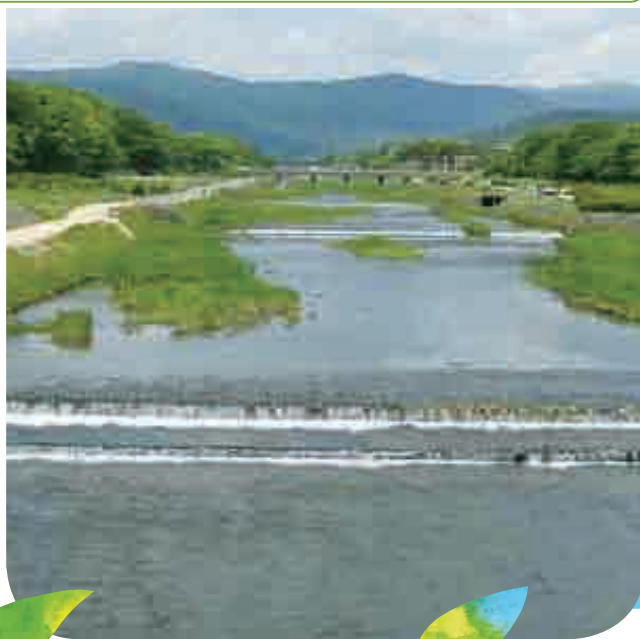
左京区は豊かな自然に恵まれたまちです。
この緑あふれる美しい自然を守り育てるとともに、自然と調和するまちづくりを進めます。

2011

2021

10年後のすがた

自然を愛で、
地球環境に配慮した
エコライフを
実践する左京



自然環境

左京区は、美しく豊かな自然に恵まれた山紫水明の地です。美しい山々と清らかな水の流れをはじめとする自然が左京区の大きな魅力であり、誇りです。また、家の中に花を飾り、周辺の山々を借景にするなど、自然を愛で、楽しむ文化やところも区民に脈々と受け継がれてきました。

一方で、北部地域における農林業は、担い手の不足や高齢化により存亡の危機にあります。また、左京区には京野菜をはじめとする農業の伝統があり、今後も農地を維持しながら地元の食材を使う食文化を広めるなど、豊かな自然を生かした農業を守り伝えていくことが重要です。

左京区では、農林業の振興を図りながら、自然環境をキーワードに北部地域と中南部地域の交流を進め、水や木などの資源を円滑に地域間で潤環させ、様々な生物が共存する「生物多様性」を保全していくことが求められています。





区民一人ひとりが
できること

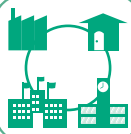
「自然を愛でるところ」を大切にしましょう。



自然を大切にし、「自然を愛でるところ」を次の世代へと受け継ぎましょう。



美しい自然を守るため、エコライフ（地球環境に配慮した生活）を実践しましょう。



区民と行政・事業者・大学等が協働すること

山を育てて、自然の資源を生かしましょう。



山林の維持管理や休耕田等の活用を進めるなど、自然の資源を生かしましょう。



自然と食の文化を次世代に伝える取組を進めましょう。



行政（区役所・市役所）がすること

自然を生かした区内の交流を進めます。



農林業の振興を図り、産業や生活基盤としての魅力を高めるとともに、鳥獣被害や病虫害の対策を進めます。



豊かな自然を生かし、北部地域と中南部地域の交流を進め、左京区の自然の魅力を発信します。

行政が協働や単独で取り組む具体例



野生鳥獣による農産物や人家への被害の低減、病虫害による松枯れ木・ナラ枯れ木の処理や多様な樹種の植林

地元産材の積極利用、地元産農作物の朝市の開催や給食での利用、環境にやさしい商品の開発や購入等の啓発

中南部地域の区民が山村都市交流の森をはじめとする北部地域の自然に触れ、五感で感じる機会づくりの推進

休耕田等を活用した米作りや野菜作り等の農業体験の実施や市民農園の整備、資源循環型農林業の推進

北部地域の魅力ある情報発信に向けたホームページの充実や観光マップの作成



まちの美化

左京区には市街地の中にも街路樹や社寺、公園の木々などの緑が豊かにあり、四季の移り変わりを感じさせてくれます。しかし、美しい桜などの花や紅葉も、地面に散った後は、その清掃が地域の大きな課題となっています。

また、観光客が多く訪れる地域では、しばしばごみが散乱し、地域で清掃しなければならない状況にあり、左京区内では、岡崎公園や宝が池、大原などが、特に空き缶や吸い殻等の散乱を防止する必要がある美化推進強化区域として指定されています。

また、左京区は清らかな水に恵まれ、アユ釣り等の区民で川が賑わう季節もあります。これからも、美しい河川を守る事が大切です。



左京区内の主な伝統行事

「左京区内の主な伝統行事」コーナーでは、国の指定重要無形民俗文化財と京都市登録無形民俗文化財を中心に左京区内の24の伝統行事を紹介します。

※行事の開催日、開催場所は平成23年2月現在のものです。

久多花笠踊

8/24

上の宮神社、
大川神社、
志古淵神社



一乗寺鉄扇

8/31

一乗寺八大神社





区民一人ひとりが
できること

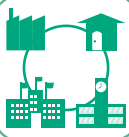
美しいまちを 目指しましょう。



門掃きや打ち水など、まちを美しくすることを心がけましょう。



ごみを出すルールを守り、環境意識を高めてごみを減らしましょう。



区民と行政・事業者・大学等が
協働すること

地域での一斉清掃などの 取組を行いましょ。



地域内の一斉清掃を行うなど、まちや山、川を美しくしましょう。



ごみの出し方のルールを徹底し、不法投棄をなくしましょう。



行政（区役所・市役所）が
すること

ごみの減量や環境保全に 関する啓発を強化します。



まちの美化やごみの減量、環境保全に関する広報を充実させます。



河川等への不法投棄を防ぐ取組を進めます。

行政が協働や単独で取り組む具体例

門掃きや打ち水等の呼びかけや、ごみの減量、リサイクルなどの啓発

地域内の一斉清掃など、美化活動への支援

学校での環境学習の実施

不法投棄防止のパトロール等の実施



歩きやすいまち

左京区は、交通利便性の更なる向上を図る必要があります。高齢化や安心・安全といった観点からも、公共交通の充実が必要です。また、大学のまちであることから、学生が自転車に乗ることも多く、違法駐輪や走行マナーの悪化が指摘されており、自転車利用環境の整備や自転車の利用マナー・ルールの普及が課題となっています。

区域の広い左京区では、地域の特徴も多彩で、哲学の道や半木の道など、愛称が付き、多くの区民に親しまれる道もあり、これらを歩いて回ることにより身近に感じることができます。安心して歩くことのできるまちづくりが求められています。



左京区内の主な伝統行事

一乗寺
八大神社の
剣鉾

5/5

一乗寺八大神社



市原
八毛八踊・
鉄扇

8/16

川島織物前









区民一人ひとりが
できること

自転車等のマナーの 向上に努めましょう。





-  自転車を利用する時は、誰もが走行や駐輪のマナーの向上に努め、子どもや高齢者等の歩行者が安心して快適に歩くことができるようにしましょう。
-  自動車等の違法駐車をやめましょう。
-  歩道に看板、商品や物を置かないようにしましょう。
-  人と環境にやさしい公共交通の利用に努めましょう。



区民と行政・事業者・大学等が
協働ですること

誰もが歩きやすい道を 確保しましょう。




-  自転車の利用マナー・ルールの普及に向けた啓発を進めましょう。
-  利用しやすい交通体系を検討しましょう。








行政（区役所・市役所）が
すること

歩きやすいまちづくりを 進めます。



-  電線類の地中化、交通バリアフリーの推進、放置自転車の撤去、駐輪場の整備、見やすい案内標識の整備などを通して、歩きやすいまちづくりを進めます。

行政が協働や単独で取り組む具体例

-  自転車等の利用マナーの向上とルールの遵守に向けた啓発や指導
-  放置自転車の撤去、民間自転車等駐車場の整備への支援及び利用促進
-  看板等の路上物件に対する指導、電線類の地中化や歩道の段差解消の推進
-  バスの走行環境の向上に向けた違法駐車の防止やバス専用レーンの遵守の啓発
-  公共交通の環境優位性のPR



自然と調和した 都市基盤整備

左京区の北部地域では、人口の減少が大きな課題となっており、集落としての機能を維持することが限界に近づきつつある集落も生じています。北部地域では、豊かな自然や良好な農林業環境があり、魅力的な催しも多く開催されていますが、訪ねる人が少ないのが現状です。北部地域に来てもらい、暮らしてもらうためには、左京区ならではの自然と結びついた文化や食の文化などの魅力を伝えるとともに、自然との調和を図りつつ、道路や水道、情報ネットワークなどの整備を進めることが重要です。



大原や鞍馬、静原等の市街化調整区域[※]や花脊峠以北の都市計画区域外では、自然環境の保全と地域の活性化の調和が課題であり、市内で初めて市街化調整区域内での地区計画を定めた大原小出石町の取組など、定住できる、活力ある里づくりが期待されています。

一方、南部地域の子どもの中には、田んぼを見たことがない子どももいます。北部地域との交流を進めるとともに、区民の誇りの木をはじめ、街路樹や公園の木など身近な緑を大切にして四季の移り変わりを感じることも必要です。

※市街化調整区域：市街化を抑制する区域として都市計画法に基づいて定められたもの

左京区内の主な伝統行事

石座例大祭
(石座火祭)

10/23に
近い土曜日

石座神社



大原上野町
おこない・
お弓

1月第2
月曜日

浄楽堂





区民一人ひとりが
できること

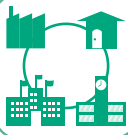
自然資源を暮らしの中で 使いましょう。



左京区の自然に親しみ、資源を日々の生活や仕事の中に使っていきましょう。



自然や資源を生かして地域間の交流や連携を深めましょう。



区民と行政・事業者・大学等が
協働ですること

まちの緑や景観を 守りましょう。



緑を豊かにし、自然と調和した美しい景観を守りましょう。



若い世代が移り住めるよう、自然を守りながら北部地域の活性化を進めましょう。



行政（区役所・市役所）が
すること

自然に配慮した 都市基盤整備を進めます。



北部地域の活性化や中南部地域との交流を促進するため、道路網の整備推進など、美しい自然に配慮しながら都市基盤整備を進めます。

行政が協働や単独で取り組む具体例



街路樹や公園の整備，区民等による記念植樹，屋上や壁面の緑化，沿道の花壇づくりの支援



北部地域における安全な交通を確保し，地域間交流を促すための道路整備，情報化の推進をはじめとする定住支援



地域水道整備事業，北部地域特定環境保全公共下水道整備の推進



良好な建築物による景観，町並みの形成や眺望景観の保全



防災・消防

自然災害から暮らしを守ることは、まちづくりの中でも重要な課題の一つです。特に左京区は、花折断層が縦断し、山間部も多いために土砂崩れなどの自然災害の危険性も高くなっています。

防災や安全といった課題は、その時々に対応していけばいいということではなく、まず、地域の安全を将来にわたってどのように確保していくのかを考える必要があります。そのうえで、次代の子どもたちに対してどのような取組をするのかを長期的な視点で考えることが求められています。



左京区内の主な伝統行事

大原八朔踊

9/1に
近い土曜日

江文神社



上高野 念仏供養踊

8/19

宝幢寺





区民一人ひとりが
できること

自然災害等に対する 防災意識を高めましょう。



自然災害や火災の被害を最小限にするため、日常的に地域全体の安全を一人ひとりが考え、防災訓練に積極的に参加しましょう。



災害時に備え、水や食料などの非常用品を最低数日分用意しておきましょう。



区民と行政・事業者・大学等が
協働すること

長期的な視点で 防災に取り組みましょう。



地域と行政が力を合わせ、防災や地域の安全について、長期的な視点に立って取組を進めましょう。



行政（区役所・市役所）が
すること

災害に強いまちづくりを 進めます。



災害に強いまちづくりを進めるため、区民と行政のネットワークの充実を図ります。



災害に強い道路や橋等の整備を進めます。

行政が協働や単独で取り組む具体例

- 地域の防災活動や救命講習への参加の促進
- 水や食料など非常用品の備蓄
- 消防団、自主防災組織や学生消防サポーターの強化
- 左京区総合防災訓練の実施や学区総合防災訓練への支援
- 建築物や橋りょうの耐震改修の促進

目標その2

歴史・文化・ 学問の まちづくり

左京区は豊かな歴史と多彩な文化が息づくとともに、多くの大学が集まる学問のまちです。
この魅力を更に高めるまちづくりを進めます。

2011

2021

10年後のすがた

歴史や文化を
気軽に学び、楽しみ、
多彩な交流を
育む左京



歴史資源・ 文化財

左京区は、区内の至るところに、悠久の歴史や文化が息づいています。世界遺産である賀茂御祖神社（下鴨神社）と慈照寺（銀閣寺）をはじめとして、南禅寺、平安神宮、鞍馬寺、三千院など著名な社寺、我が国固有数の文化財が点在するほか、近代化を牽引した琵琶湖疏水とインクライン、疏水の水を引き入れた庭園群、桜並木で彩られホテルが飛び交う疏水分流など、身近なところで区民それぞれに愛される景観があり、保勝会をはじめとする地域の方々の美化活動等によって守られています。左京区に住む子どもたちが、これらの歴史・文化を日々の暮らしや、学校等と地域の連携の中で学んでいく必要があります。

また、まちの環境が大きく変わっていく中で、歴史資源・文化財・景観を守り育てていかなければなりません。変わらないものと変わっていくものが共存できるまちを目指すことが重要です。





区民一人ひとりが
できること

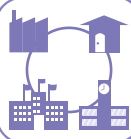
左京区の歴史や文化を 学びましょう。



豊かな伝統と歴史を誇る左京区の魅力を学び、次世代へと継承していきましょう。



自然と歴史が融合した文化の良さや日常的な文化的景観を再認識し、守っていきましょう。



区民と行政・事業者・大学等が協働ですること

歴史や文化を学ぶ 仕組みをつくりましょう。

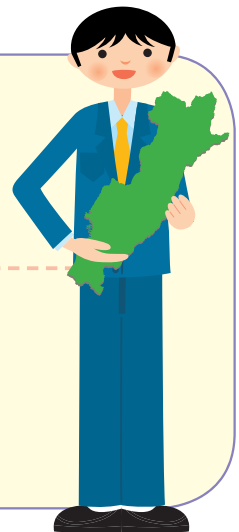


地域の歴史や文化、古くから伝承されてきた生活習慣について、地域と学校、大学等の連携により、区民が気軽に学ぶことのできる仕組みづくりを進めましょう。



行政（区役所・市役所）が
すること

文化財の保全・活用を 進めます。



貴重な文化財の調査を行い、保全・活用を進めます。



歴史や文化についての情報を発信し、魅力を伝えます。

行政が協働や単独で取り組む具体例



区内の歴史・文化・古くから伝わる風習等に親しみ、広げ伝える区民向け講座の開催



文化財の調査、記録、保護、活用や防火の推進



歴史的建造物の保存や活用に向けた文化財マネージャーの養成



地域の文化財を生かしたまちづくりへの支援と情報発信の強化



伝統行事

左京区には、昔ながらの形で保存・継承されてきた伝統行事が数多くあり、国の重要無形民俗文化財である久多花笠踊をはじめ、京都市登録無形民俗文化財の約半数を占める23件が区内に集中しています。これらの伝統行事を支えている保存会では、行事を受け継ぐ次世代の育成が課題となっています。

地域の身近な祭礼でも、子どもたちが参加せずに廃れていく例があります。逆に、新しく左京区に来た方は、地域の行事とのかかわり方が分からないでいる場合もあります。

大学や小学校との連携も視野に入れ、子どもが地域の行事に参加できるような仕組みづくりが必要となっています。併せて、新しい住民の方に伝統行事への参加を呼びかけていくことが重要です。



左京区内の主な伝統行事

北白川
高盛御供

10月第1
日曜日

北白川天神宮



木野
愛宕神社の
烏帽子着

10/23

木野愛宕神社





区民一人ひとりが
できること

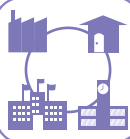
伝統行事を 守り伝えましょう。



区内の多くの伝統行事の魅力や大切さを再発見、再認識し、守り伝えましょう。



若い世代や子どもに伝統行事を伝えるとともに、行事への参加を呼びかけましょう。



区民と行政・事業者・大学等が
協働ですること

小学校等との連携により、 伝統行事を継承しましょう。



子どもたちが地域の文化や伝統行事を学ぶ機会をつくりましょう。



伝統行事の保存・継承の課題解決に向けた取組を進めましょう。



行政（区役所・市役所）が
すること

伝統行事に関する 情報交換を支援します。



伝統行事を担う人のネットワークにより、地域間の交流や必要な資材等に関する情報交換を支援します。



伝統行事の魅力や課題等の広報を展開します。



行政が協働や単独で取り組む具体例



伝統行事に使われる資材等の確保や後継者の育成など伝統行事の保存継承への支援



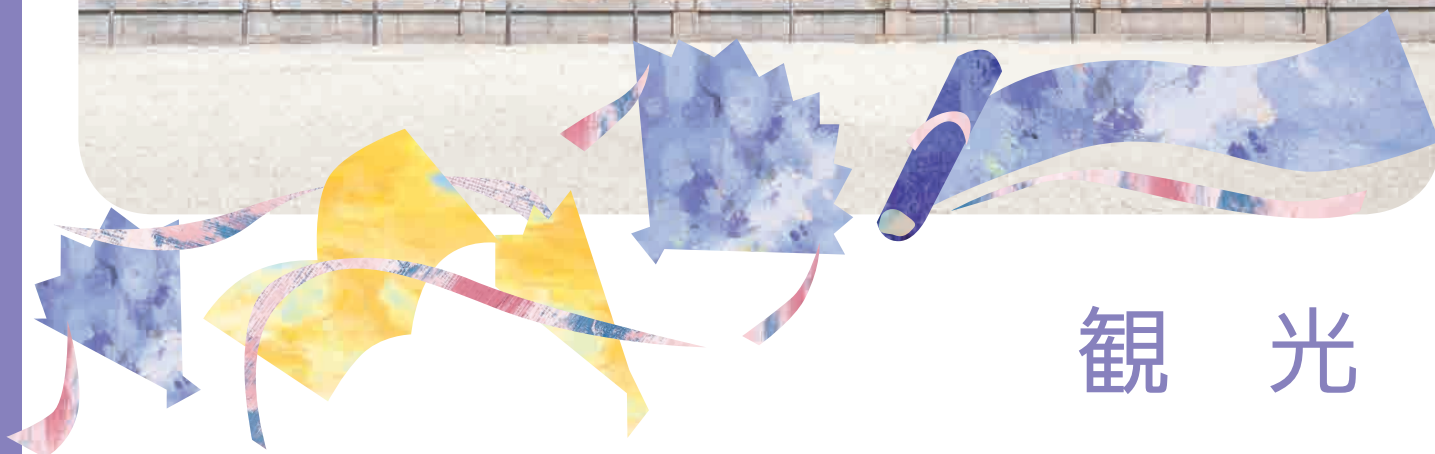
学校や大学で伝統行事に触れる機会づくり



伝統行事の保存会等のネットワークによる情報交換



ホームページ等を通じた観光客向け情報の充実



観光

左京区には、豊かな自然、美しい景観、歴史ある神社仏閣など、誇るべき観光資源が数多くあります。慈照寺（銀閣寺）、南禅寺、鞍馬・貴船、平安神宮、大原などは、市内でも有数の観光地で、多数の観光客が訪れます。これらの自然や文化などに触れるために、多くの人々が国内外から左京区に来て、その自然や文化などを学んで帰ります。そのような観光客に対して、迎え入れる区民は歴史や文化をよく知ったうえでもてなせば、観光客の満足度は更に上がるものと思われます。その点で左京区では、観光を単なる産業として捉えるのではなく、地域住民の暮らしとの調和を図りながら、地域の文化として区民で支えていくことが重要です。



左京区内の主な伝統行事

久多宮の町松上げ

8/23

久多宮の町



久多山の神・お弓

1/3

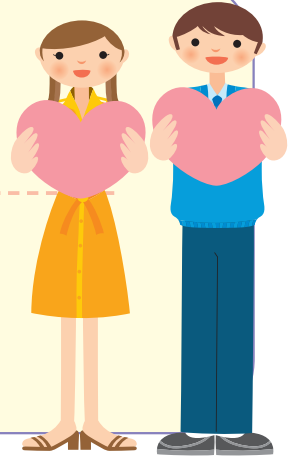
志古淵神社





区民一人ひとりが
できること

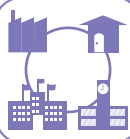
観光客に左京区の文化を伝えましょう。



左京区の文化を理解し、地域の文化を発信しましょう。



国内外からの観光客をおもてなしの心で温かく迎えますよう。



区民と行政・事業者・大学等が協働ですること

自然を生かした観光の仕組みづくりを進めましょう。



農林業や食文化の体験、風景観賞など、自然を生かした観光の仕組みづくりを進め、北部地域と中南部地域の交流を図りましょう。



行政（区役所・市役所）がすること

地域の魅力を生かした観光を支援します。



観光客によるごみの散乱等を防ぎ、自然や文化をゆっくり味わうことのできる観光を目指し、地域の魅力づくりを支援します。



行政が協働や単独で取り組む具体例



自然、農林業、文化、知恵などを五感で体験する“ほんまもの”とふれあう観光の推進



大原・静原・貴船・鞍馬、一乗寺周辺、京都大学周辺、哲学の道、岡崎周辺、かもがわ遊歩道をはじめとするゾーン別観光の支援



マインズ※ MICEの誘致に向けた国立京都国際会館の拡充や岡崎地域の機能強化



多言語による観光情報の発信や観光案内標識の充実



環境にやさしい歩く観光の推進

※MICE：企業の会議やセミナー、報奨・研修旅行、国際会議、イベントなど



文化・芸術

左京区には、北山や岡崎をはじめとする文化的地区があり、市民の寄付により建設された京都市動物園や京都市美術館、京都最大のホールを持ち「文化の殿堂」として親しまれてきた京都会館、国内に5つある国立美術館の一つである京都国立近代美術館などがあり、併せて、各地域で文化・芸術の伝統や蓄積が受け継がれてきました。それらの文化・芸術は、季節感を重んじることで暮らしの中に溶け込み、区民はそれらの文化・芸術を楽しんできました。とりわけ、自然と結びついた文化や食の文化は、左京区の暮らしの中で育まれた文化です。このように、左京区は文化的環境に恵まれた地域です。

このような文化・芸術を楽しむところを多くの区民が受け継いでいくためにも、まずは区民が魅力を感じて文化・芸術に触れるような仕組みを考えていく必要があります。

また、自然と歴史を生かした、左京区ならではの新しい文化・芸術の創造と発信が期待されています。



左京区内の主な伝統行事

鞍馬の火祭

10/22

由岐神社、
鞍馬街道



鞍馬山竹伐り会式

6/20

鞍馬寺





区民一人ひとりが
できること

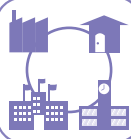
文化・芸術を 楽しみましょう。



区内にある文化・芸術の施設を訪ね、文化・芸術を楽しみましょう。

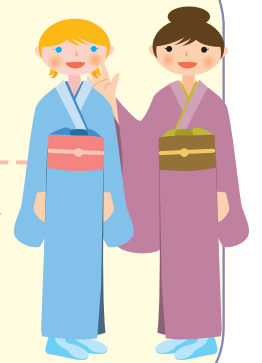


暮らしの中に息づいている文化を新しい視点で受け継いでいきましょう。



区民と行政・事業者・大学等が
協働ですること

自然を文化・芸術に 生かしましょう。



区内の自然を文化・芸術に取り入れることのできる仕組みづくりを進めましょう。



区民が左京区の文化を学ぶことのできる機会をつくりましょう。



行政（区役所・市役所）が
すること

文化・芸術を身近に感じられる機会を提供します。



文化・芸術に気軽に触れることのできる仕組みづくりを進めます。



食文化やいけ花などの自然と結びついた文化を体感できる機会を提供します。

行政が協働や単独で取り組む具体例



いけ花、煎茶、能、狂言などの伝統文化をはじめとする文化・芸術に気軽に触れ親しむ機会づくり



京都会館や京都市美術館、京都市動物園の再整備や、重要文化的景観への選定に向けた取組など、世界に冠たる文化・交流ゾーンとしての岡崎地域の活性化



京都府立植物園、京都コンサートホール、京都府立大学を中心とした北山文化環境ゾーンの整備

※重要文化的景観：日々の生活に根ざした身近な景観のうち重要なものとして文化財保護法に基づいて選定されるもの



大学のまち

左京区には、京都大学、京都工芸繊維大学、京都精華大学、京都造形芸術大学、京都ノートルダム女子大学、京都府立大学の6つの大学（大学院のみの大学を除く）が集積していることから、「大学のまち・左京」として、大学と地域の連携を積極的に行ってきました。地域に入って熱心な活動を展開する大学の教員も多く、大学と地域の結びつきはますます強くなっています。

特に学生には、共に地域で活動する者として、研究を通じて伝統行事に携わるなど、積極的に地域社会にかかわりを広げていくことが期待されています。一方で、生活者として自転車などの交通のマナーやごみ出しなどの生活のマナーの向上も求められています。学生の持つ柔軟な発想と若々しい力には左京のまちを大きく変えていく可能性があり、大学と地域がうまく交流していくことが重要です。



左京区内の主な伝統行事

木瓜大明神の剣鉾

10月第2日曜日

今宮社
(吉田神社末社)



修学院題目踊・紅葉音頭

8/27

修学院七町会館
広場





区民一人ひとりが
できること

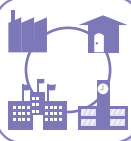
地域と大学との交流を 図りましょう。



近くの大学に通っている学生や地域で暮らしている学生と交流を図り、若い力でまちづくりを進めましょう。



学生は、生活や交通のマナーを守りましょう。



区民と行政・事業者・大学等が協働ですること

大学の発想を生かした まちづくりを進めましょう。



学生や研究者ならではの視点を生かし、地域の課題解決とまちづくりを進めましょう。



学生の地域の行事への参加を促進しましょう。



行政（区役所・市役所）が
すること

大学が連携できる仕組み づくりを進めます。



区内の大学が連携し、左京区ならではの共同事業ができる仕組みづくりを進めます。



地域と大学の協働によるまちづくりを支援するとともに、更なる情報発信を行います。



行政が協働や単独で取り組む具体例



大学の研究者と区民と一緒に区の特性等を考える講座等の開催や、区内の大学と区役所から成る「大学のまち・左京」推進協議会を核にした一層の連携強化



地域行事への学生の参加をはじめ、大学と地域の協働によるまちづくりの支援



留学生や研究者が安心して学び、研究できる生活環境づくりへの支援

目標その3

ひとに やさしい ぬくもりの まちづくり

左京区で暮らすひと、学ぶひと、働くひと、そして左京区を訪れるすべてのひとにやさしいぬくもりが伝わるまちづくりを進めます。

2011

2021

10年後のすがた

すべてのひとが互いを認め合い、支え合う温かいところを持つ左京



子ども

左京区においても高齢化に加えて少子化が進んでいます。子どもは、自然や歴史・文化に恵まれた左京区の将来を担っていくかけがえのない宝です。

家族規模の縮小が進む中であっては、子どもを地域全体で見守り、育むように努めることが重要です。次代を担う子どもに対して、安心・安全のまちづくりをどのように進めるのかを長期的な視点から考える必要があります。

特に、北部地域では子どもが極めて少ない状況ですが、子育てに適した豊かな自然環境と整った教育施設があります。中南部地域との交流も図りつつ、多くの子どもが自然の中でのびのびと育つ、左京区ならではの子育て支援を進めることが重要です。





区民一人ひとりが
できること

子どもを地域全体で見守り、育てましょう。



子どもを地域全体で見守るため、大人から進んであいさつや声かけをしましょう。

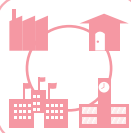


子どもや子育て環境について地域全体で考え、支え合うようにしましょう。



民生児童委員・主任児童委員[※]や社会福祉協議会などが中心となって実施している地域の子育てサロンに参加するとともに協力しましょう。

※主任児童委員：関係機関と児童委員との連絡調整や児童委員の活動に対する援助・協力を行う職



区民と行政・事業者・大学等が協働ですること

子どもの安心・安全を確保しましょう。



子どもの安心・安全を確保し、健康で健全な成長を支援しましょう。



地域行事に子どもが参加する機会を増やし、子どもが地域のことを学べるようにしましょう。



行政（区役所・市役所）が
すること

出産・育児や子どもの学びを支援します。



子どもが区内の施設に気軽に訪問し、興味を持って学べる仕組みづくりや、子どもが自然に触れることのできる機会の提供を行います。



子どもを安心して生み、健やかに育てることができる環境づくりを行います。

行政が協働や単独で取り組む具体例

- 地域福祉推進委員会や子育て支援調整会議を核としたネットワークの推進による子どもの健全育成、虐待防止
- 待機児童の解消、病児や病後児の保育、市民が互いに育児を助け合うファミリーサポート事業の実施
- 子ども支援センターや地域子育て支援ステーションなどでの相談支援、子育て支援活動いきいきセンター（つどいの広場）や児童館における子育て親子の交流の場の提供、支援を必要とする子育て世帯へのヘルパーの派遣
- 北部地域での健康相談会、交流会等の子育て支援
- ワーク・ライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた啓発
- 子どもを対象とした自然体験や環境学習の機会づくり

目標
3

子育て支援の推進



高齢者

高齢化の進展は、左京区も例外ではなく北部地域でも中南部地域でも高齢化が進んでいます。区内の100歳以上の高齢者数は京都市の区の中で最多という「長寿区」であることも区の特徴であり、高齢者をはじめとする区民が安心して暮らせる環境づくりが急務となっています。

左京区に暮らしてきた高齢者の方は、左京区の豊かな自然を守り育て、歴史や文化を継承・発展させてきました。将来を担う次の世代に伝え、導いていかなければならないことは数多くあります。

そのためにも、まずは、高齢者の方が健やかに暮らし、いきいきと地域で活躍してもらう必要があります。特に、一人暮らしの高齢者の方に対しては、地域の一人ひとりと各種団体が協力して声かけや見回りをするなど、地域全体で顔の見える関係づくりを進めることが重要です。



左京区内の主な伝統行事

大文字
送り火

8/16

大文字山



鉄仙流
白川踊

8/15

北白川小学校





区民
一人ひとりが
できること

みんなが安心して暮らせるよう、 高齢者を支え合いましょう。



高齢者がすこやかに暮らし、安全に外出できるよう、地域の支え合いを進めることにより、高齢者の家族をはじめ区民みんなが安心して暮らせる地域づくりに努めましょう。



子どもとの交流を図るなど、高齢者の身近な地域活動への参画を進めましょう。



区民と行政・事業者・大学等が
協働すること

地域で顔の見える関係 づくりを進めましょう。



高齢者が孤立しないよう、地域で顔の見える関係づくりを進めましょう。



地域の伝統行事などをきっかけに、高齢世代と子どもの世代をつないで交流を進めましょう。



行政（区役所・市役所）が
すること








高齢者が地域で活動 できるよう支援します。



交通バリアフリーなどを推進することにより、高齢者が安全に外出でき、いきいきと地域で活動できるよう支援します。



行政が協働や単独で取り組む具体例

-  地域福祉推進委員会や地域ケア連絡協議会を核としたネットワークの推進
-  知恵シルバーセンターやシルバー人材センターを通した高齢者の生きがいづくり
-  老人福祉センターや介護予防推進センターを中心とした介護予防の取組の推進
-  認知症あんしんサポーターの養成や「高齢者にやさしい店」の拡大等による高齢者にやさしいまちづくりの推進
-  地域包括ケアシステムの充実など、必要なサービスを利用できる環境整備
-  地域包括支援センター、民生児童委員、老人福祉員等による高齢者への見守り活動の実施
-  一人暮らし等のお年寄りへの目配りをしていただく一人暮らしお年寄り見守りサポーターの養成

目標

3

わがまちをよりよく暮らすための目標



障害のあるひと

障害のあるひともないひともしいきいきと暮らすことのできるまちづくりが重要です。左京区では、これまでから地域で福祉に取り組む意識が受け継がれ、高齢者への支援と並んで、障害のある方への支援についても積極的に行われています。

障害のあるひとが地域ですこやかに暮らしていくには、社会福祉協議会や区内の福祉施設等と区役所が更に連携を深め、地域の支え合いを進めていくことが重要です。



左京区内の主な伝統行事

花脊松上げ

8/15

山村都市
交流の森



広河原松上げ

8/24

「下の町」
バス停前





区民
一人ひとりが
できること

地域で福祉に取り組む意識 を受け継ぎましょう。



地域で福祉に取り組む意識を受け継ぎ、障害の有無にかかわらず、すこやかに暮らせるよう、地域の支え合いを進めましょう。



区民と行政・事
業者・大学等が
協働すること

地域ですこやかに暮らせる よう交流しましょう。



社会福祉協議会を核としながら、区内にある福祉事業者等が連携し、障害のあるひとがすこやかに地域で暮らせるよう、お互いの交流を深めましょう。



行政（区役所・
市役所）が
すること







地域のネットワー づくりを推進します。



地域のネットワークづくりを推進し、障害の有無にかかわらず、地域での活動に参画できるよう支援します。



行政が協働や単独で取り組む具体例

-  地域福祉推進委員会や障害者地域自立支援協議会を核としたネットワークの推進
-  お互いに認め合い支え合って暮らすまちづくりやユニバーサルデザインの推進
-  積極的な社会参加に向けた情報・コミュニケーション支援と相談支援の実施
-  障害者スポーツセンターを拠点としたスポーツやレクリエーション活動の推進
-  ヘルパー派遣などの在宅サービスや、グループホーム、ケアホームなどの居住の場の充実
-  障害者相談員や発達相談員による相談支援の実施



市民参加・生活安全

左京区は、区域が広大であり、地域が育んできた歴史や文化は多彩です。地域での活動に対する区民のかかわり方や考え方も地域によって大きく異なり、新しい住民が多い地域では、まずはコミュニティづくりが課題となっているところもあります。

左京区では、地域住民や学校、警察署、消防署等と連携しながら、すべての学区で安心安全ネットワークを構築し、安心・安全のまちづくりを進めています。

いずれの地域に住んでいても、地域の活動にかかわりたいと考えている区民は大勢います。しかし、活動へのかかわり方が分からずに参加できない場合もあるようです。その意味でも、区民の力を地域の活動に生かしきれていないのが現状です。左京区の特性を踏まえた、誰でも取り組めるような身近な活動を展開し、その情報を積極的に提供していくことが重要です。



左京区内の主な伝統行事

広河原ヤッサ踊・ヤッサコサイ

8/24

観音堂



松ヶ崎題目踊・さし踊

8/15,16

涌泉寺





区民一人ひとりが
できること

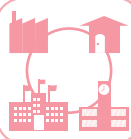
地域活動への参加を 呼びかけましょう。



地域コミュニティへの参加を呼びかけるとともに、若い世代の人、転入してきた人、集合住宅に住む人も気軽に参加できる工夫を考えましょう。



左京区の特性を踏まえ、誰でも取り組めるような身近な活動を更に展開するとともに、地域での情報共有を進めましょう。



区民と行政・事業者・大学等が
協働すること

地域の団体との連携により、 地域活動の輪を広げましょう。



スポーツ、福祉、教育などの地域の活動の輪を更に広げましょう。



地域の連携を深め、防犯・交通事故防止・防災に取り組みましょう。



行政（区役所・市役所）が
すること






地域活動に関する 情報を発信します。



市民しんぶんやホームページでの地域活動等についての情報を充実させるなど、活動をしたいと思っている人が活動に加わり、活動の輪が広がるよう支援します。



行政が協働や単独で取り組む具体例

-  ワークライフ・バランス（仕事と生活の調和）の実現に向けた啓発（再掲）
-  いきいきと活動する地域コミュニティづくりに向けた支援
-  新左京区総合庁舎や、コミュニティセンターを転用した「いきいき市民活動センター」を拠点とした市民活動の推進
-  地域の安心・安全ネットワークの構築、充実への支援や市街灯の増設
-  犯罪被害者の総合相談窓口の設置や生活支援



交流・共生

左京区は、区域が南北に長く、各地域の独自の生活文化等が確立しているため、地域間での交流の機会が少ないのが現状です。昔は、北部地域で産出した農産物や木材等を中南部地域に届けるというかわりがありました。今後は、地域間の連携を深め、人や資源をつないでいくことが重要であり、そうすることで子どもや高齢者等を支える仕組みづくりを進めていく必要があります。

また、左京区に何代にもわたり住んできた区民と、新しく転居してきた区民が暮らしています。さらに、「大学のまち」であることから、外国からの研究者や留学生も多く暮らしており、外国籍市民の国籍は京都市の中で最も多く、100か国を超えています。多くの人が互いを尊重しながら、助け合い、きずなを深めていくことが重要です。



左京区内の主な伝統行事

松ヶ崎妙法送り火

8/16

松ヶ崎東山、西山



八瀬赦免地踊り

体育の日の前日

秋元神社（八瀬天満宮境内内）



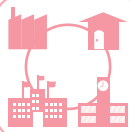


区民一人ひとりが
できること

互いを認め合い、交流を深めましょう。



左京区に古くから住んでいる人、新しく転居してきた人、外国から来た人など、左京区に住むすべての人がお互いを認め合いながら、助け合い、交流を深めましょう。



区民と行政・事業者・大学等が協働すること

自由に交流できる平和なまちづくりを進めましょう。



互いの文化や考え方等の違いを認め、自由に交流できる平和なまちづくりを進めましょう。



子どもや高齢者を含めてお互いを支える仕組みづくりを進めましょう。



行政（区役所・市役所）が
すること

地域間の交流と情報の共有を支援します。



北部地域の施設との連携により、自然の魅力や課題等を共有し、交流できる機会を提供します。



地域間の連携を深め、情報の共有ができるよう、広報の充実を図ります。



区内に暮らす外国籍市民との文化交流を図ります。



行政が協働や単独で取り組む具体例



地域間の交流に向けた情報発信



留学生と区民との交流の場づくりの支援



新左京区総合庁舎を拠点とした多様な区民が交流できる環境づくり



各種の表記の多言語化の推進など外国人への情報伝達の充実



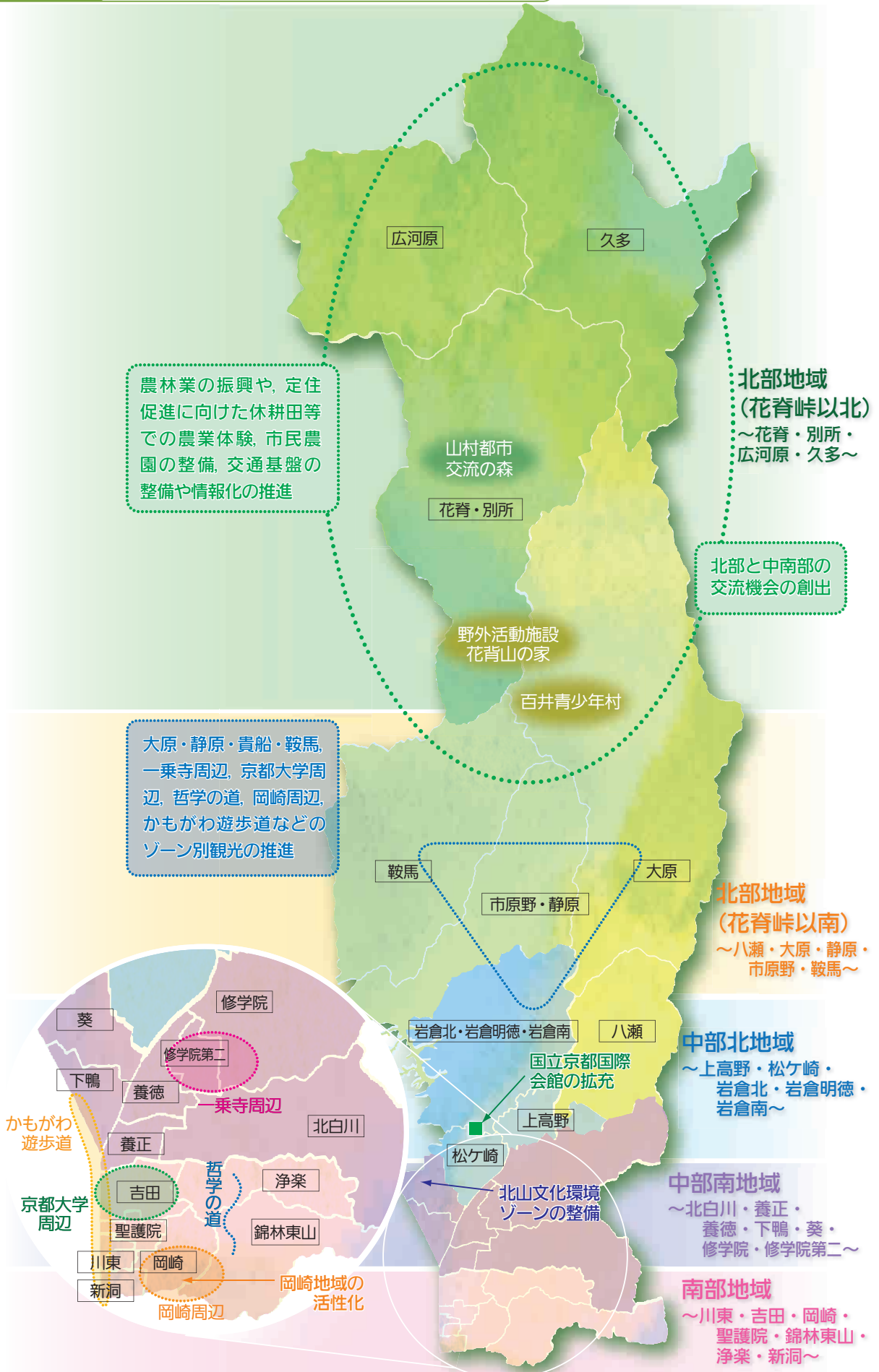
互いの違いを認め合い、人権を尊重し合う習慣が根付いた社会に向けた啓発・交流の推進

目標

3

くらしをよりよくするまちづくり

地域別の目標



北部地域（花脊峠以北）

～花脊・別所・広河原・久多～

豊かな自然と伝統文化を守り、未来へ継承します。

豊かな緑ときれいな水、伝統のある文化に恵まれた安らぎのある地域です。住民が互いに支え合い、毎日を大切に過ごしています。中南部地域との交流を進め、定住者の増加を図りながら、美しい自然環境、農林業、伝統文化を守り育て、未来へ継承することを目指します。

北部地域（花脊峠以南）

～八瀬・大原・静原・市原野・鞍馬～

幅広い世代が連携し、地域に活気をもたらします。

自然環境や美しい景観が魅力的なこの地域では、子どもから大人まで幅広い世代が連携し、積極的に地域で活動しています。自然を守りながら、若者や観光客にも地域の素晴らしさをアピールし、できるだけ多くの新しい住民を迎えて活気があふれるまちづくりを進めていきます。

中部北地域

～上高野・松ヶ崎・岩倉北・岩倉明德・岩倉南～

住民と行政が協力しながら、ぬくもりのあるまちづくりを進めます。

四季折々の美しい自然の中、子どもからお年寄りまでたくさんの人が暮らす地域です。文教施設や福祉施設も多く、区民の交流拠点ともなる新左京区総合庁舎なども連携を深めながら、ぬくもりのあるすこやかなまちづくりを進めます。

中部南地域

～北白川・養正・養徳・下鴨・葵・修学院・修学院第二～

誰もが気持ち良く行き交い、愛着を感じられるまちを目指します。

美しい緑と豊かな文化に恵まれた、静かで生活しやすい地域です。地域住民が協力し、誰もが気持ち良く行き交える美しいまちづくり、伝統行事の活性化などに取り組み、誰もが住み続けたいと愛着を感じられるまちを目指します。

南部地域

～川東・吉田・岡崎・聖護院・錦林東山・浄楽・新洞～

訪れる人と交流を深め、共生できる関係をつくります。

有名な社寺や文化施設や学術施設などが集まり、たくさんの観光客や学生が行き交う地域です。まちを美しくし、地域の魅力を更に高めながら、地域で暮らす人や訪れる人たちが積極的に触れ合い、交流を深め、共生できる関係づくりを進めます。

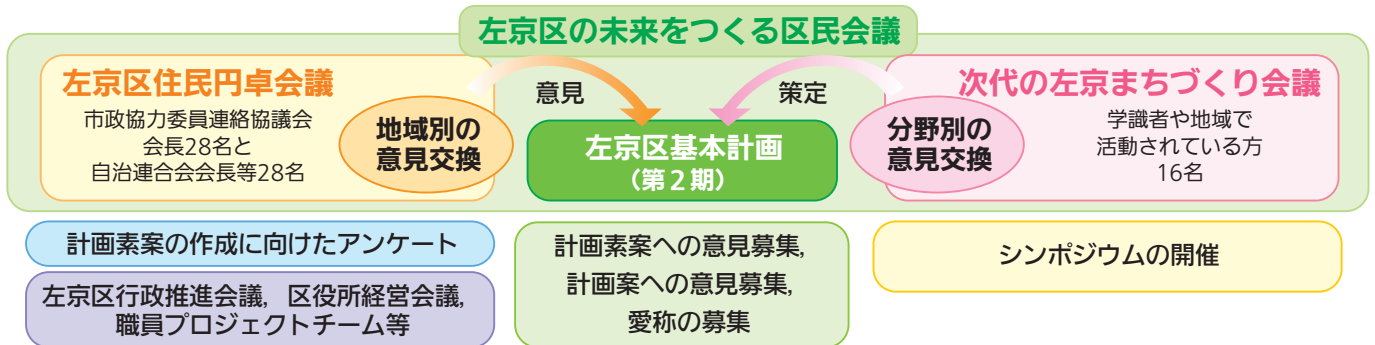


各学区の人口等の状況

（国勢調査。ただし、平成22年は市速報値）

学区名	面積 (km ²)	世帯数 (H22.10.1)	人 口			年齢3区分別人口 (H17.10.1)		
			H22.10.1	H17.10.1	増減	15歳未満	15～64歳	65歳以上
花 脊 別 所	39.280	126	283	332	△14.8%	9.3%	52.1%	38.6%
広河原	26.253	47	108	116	△6.9%	24.1%	43.1%	32.8%
久 多	34.215	51	100	117	△14.5%	13.7%	22.2%	64.1%
北部地域 (花脊峠 以北) 計	99.748	224	491	565	△13.1%	13.3%	44.1%	42.7%
八 瀬	9.883	805	1,871	1,739	+7.6%	12.0%	67.5%	20.5%
大 原	50.602	636	2,337	2,526	△7.5%	6.2%	52.0%	41.8%
静 原 市原野	16.224	2,460	6,458	6,563	△1.6%	12.8%	65.0%	21.0%
鞍 馬	24.334	217	594	712	△16.6%	9.6%	62.2%	28.2%
北部地域 (花脊峠 以南) 計	101.043	4,118	11,260	11,540	△2.4%	11.0%	62.4%	25.9%
上高野	2.429	2,986	7,060	7,093	△0.5%	14.0%	66.5%	18.7%
松ヶ崎	2.444	4,172	8,318	8,322	△0.0%	12.2%	68.7%	16.6%
岩倉北 岩倉明德 岩倉南	14.018	10,742	27,132	25,483	+6.5%	14.5%	65.4%	19.1%
中部北 地域計	18.891	17,900	42,510	40,898	+3.9%	13.9%	66.3%	18.5%
北白川	5.731	5,818	10,456	10,779	△3.0%	8.7%	69.3%	20.7%
養 正	0.630	4,901	7,854	7,694	+2.1%	5.8%	72.6%	20.7%
養 徳	0.925	8,294	14,938	15,252	△2.1%	8.7%	75.3%	15.9%
下 鴨	0.926	3,671	8,288	8,445	△1.9%	10.4%	65.4%	23.6%
葵	1.618	5,387	11,334	11,659	△2.8%	9.9%	63.9%	24.7%
修学院	7.456	7,371	15,898	16,597	△4.2%	11.7%	66.8%	20.5%
修学院第二	0.668	5,950	10,439	9,884	+5.6%	9.6%	73.5%	15.6%
中部南 地域計	17.954	41,392	79,207	80,310	△1.4%	9.5%	69.6%	20.0%
川 東	0.189	1,357	2,809	2,935	△4.3%	8.1%	74.0%	16.8%
吉 田	0.998	4,990	9,095	9,009	+1.0%	8.5%	70.5%	20.4%
岡 崎	1.036	2,821	5,737	5,936	△3.4%	9.6%	65.3%	25.0%
聖護院	0.443	2,374	4,108	4,318	△4.9%	8.5%	71.1%	19.2%
錦林東山	4.411	1,742	3,638	3,642	△0.1%	7.4%	61.2%	30.1%
浄 楽	1.880	3,604	7,085	7,434	△4.7%	8.6%	67.0%	23.5%
新 洞	0.287	1,727	2,970	3,000	△1.0%	7.6%	64.2%	25.1%
南部 地域計	9.244	18,615	35,442	36,274	△2.3%	8.5%	67.9%	22.7%
左京区合計	246.880	82,249	168,910	169,587	△0.4%	10.5%	67.8%	20.7%

計画を策定するに当たっては、左京区の将来について区民の皆様と共に考え、いっしょに計画を作り上げていくため、「左京区の未来をつくる区民会議」を設置しました。同会議は、市政協力委員連絡協議会会長及び自治連合会会長等で構成する「左京区住民円卓会議」と、学識経験者や地域で活動されている方等で構成する「次代の左京まちづくり会議」からなっています。また、広く区民の皆様から意見をいただくため、アンケート、意見募集やシンポジウムを実施しました。



1 左京区の未来をつくる区民会議「左京区住民円卓会議」

左京区住民円卓会議は、平成20年12月3日に第1回の会議を開催し、南部、中部南、中部北、北部（花脊峠以南）、北部（花脊峠以北）の5グループに分かれて、それぞれの地域の視点から意見交換を行いました。

左京区の現状や特色、10年後に残したいこと、まちづくりの自主的な取組などをテーマに、日頃の思いや目標を話し合い、互いに発表することで各地域の課題などを共有しました。

▼第1回（平成20年12月3日）

- ・まちの現状を把握しよう
- ・まちの特色や個性を考えよう

▼第2回（平成21年2月10日）

- ・10年後に残したい、このまちの宝
- ・10年後に向けて、わたしたちができること

▼第3回（平成21年11月26日）

- ・まちづくりの自主的な取組を考えよう

▼第4回（平成23年1月12日）

- ・左京区基本計画（第2期）最終案及び愛称について

2 左京区の未来をつくる区民会議「次代の左京まちづくり会議」

次代の左京まちづくり会議は、学識経験者や地域で活動されている方等の16名で構成する計画の策定委員会です。平成21年6月30日に第1回を開催し、以来、主に、左京区の魅力と課題やまちづくりの取組指針について協議してきました。

左京区住民円卓会議との連携を図るため、第3回左京区住民円卓会議に次代の左京まちづくり会議委員が、第6回次代の左京まちづくり会議に北部地域（花背峠以北）の左京区住民円卓会議委員が参画しました。また、第8回次代の左京まちづくり会議は、第4回左京区住民円卓会議と合同で開催しました。

▼第1回（平成21年6月30日）

- ・次代の左京まちづくり会議の設置について
- ・左京区基本計画（第2期）の策定について

▼第2回（平成21年11月10日）

- ・左京区の魅力、課題

- ・左京区のまちづくりの取組指針

▼第3回（平成22年1月19日）

- ・左京区基本計画（第2期）素案について

▼第4回（平成22年3月15日）

- ・左京区基本計画（第2期）素案（修正案）について

▼第5回（平成22年6月16日）

- ・左京区基本計画（第2期）素案の意見募集について

▼第6回（平成22年9月14日）

- ・左京区基本計画（第2期）案の検討について

▼第7回（平成22年10月22日）

- ・左京区基本計画（第2期）案（修正案）について
- ・左京区基本計画（第2期）案の意見募集及び愛称募集について

▼第8回（平成23年1月12日）

- ・左京区基本計画（第2期）最終案及び愛称について



氏名	役職・職業等	氏名	役職・職業等
上野み代子	左京女性連絡協議会会長	中野 三郎	花脊自治振興会会長
太田ひとみ	岡崎中学校PTA会長	那須 将	公募委員・京都大学農学部森林科学科学生
大西 義男	上高野学区市政協力委員連絡協議会会長	長谷川綏二	ボーイスカウト北星地区協議会会長
黒松 文子	松ヶ崎民生児童委員協議会会長	○深町加津枝	京都大学大学院地球環境学学准教授
笹岡 隆甫	未生流笹岡次期家元	藤井 照源	新洞社会福祉協議会会長
朱 暁凡	公募委員・京都大学大学院法学研究科学生	水口 小園	煎茶道方円流家元嗣
鈴鹿可奈子	株式会社聖護院ハツ橋総本店取締役経営企画室長	◎宗田 好史	京都府立大学生命環境学部准教授
土井 健資	株式会社土井志ば漬本舗代表取締役社長	山内 清	左京区長

〔◎は座長，○は副座長〕

3 計画策定に向けた意見募集等

広く区民の皆様から意見をいただくため、計画素案作成に向けたアンケートや計画素案への意見募集を実施しました。また、計画案への意見募集や区民の皆様と共に計画を考える機会として、シンポジウムを開催しました。

▼計画素案作成に向けたアンケート

- ・募集期間…平成20年12月15日～平成21年1月15日
- ・回答数……353人

▼計画素案への意見募集

- ・募集期間…平成22年7月1日～7月31日
- ・回答数……74人(232件)

▼計画案への意見募集及び愛称募集

- ・募集期間…平成22年11月1日～11月30日
- ・回答数……37人(114件)

▼左京区基本計画(第2期)を考えるシンポジウム

- ・日時……平成22年11月16日
- ・会場……京都市国際交流会館イベントホール

左京区基本計画 第2期

計画の推進に向けて

左京区では、計画の推進に向けて、計画に掲げたまちづくりの取組指針や取組内容を着実に実施し、目標の実現を目指します。

1 区民と行政・事業者・大学等との協働による取組

「左京はあとふるプラン」(左京区基本計画(第2期))は、これまでの計画のように、市や区が実施する事業だけではなく、区民の皆様一人ひとりが心がけていただきたいことや、区民の皆様と行政・事業者・大学等が協働で実施する取組項目を掲げています。

2 左京区運営方針による取組の推進

左京区では、10年を計画期間とするこの計画を着実に推進するため、年度毎の取組目標を掲げた左京区運営方針を策定します。運営方針では、その年度の社会状況や新たな課題等も踏まえながら、年度毎の区行政運営の基本方針と重点施策、重点事業を掲げています。

この運営方針を区民の皆様や関係行政機関とも共有しながら、計画の推進を図ります。

3 計画の進ちょく状況の管理

計画の進ちょく状況の管理については、次代の左京まちづくり会議において、基本計画や運営方針に掲げられた取組についての報告を受けて、進ちょく状況について審議するとともに、次年度の運営方針に位置付ける取組等についても議論します。



左京区基本計画（第2期 2011-2020） 左京はあとふるプラン

発行

平成23年3月

京都市左京区役所区民部総務課

ホームページ <http://www.city.kyoto.lg.jp/sakyo/>

